コミュニティ・スクール

原町CSだより

目黒区立原町小学校
校長　加藤 明恵
CS 委員長 井上 忠之
令和７年10月１日

第4回学校運営協議会報告

開催日時　令和7年9月20日（土）
10:00～12:30
次第：　司会（委員長）
１　委員長・校長あいさつ
２　本日の流れについて
３　道徳授業地区公開講座
・道徳授業参観
・意見交換会
４　いじめ、不登校の状況について
５　給食試食・情報交換
６　事務連絡

道徳授業参観の感想

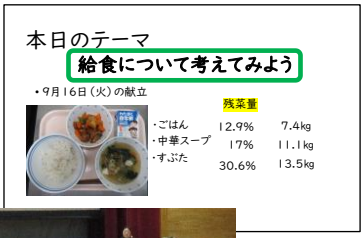
指導略案を各教室の廊下に置き、手に取って授業参観してもらうスタイルで、全学級が道徳授業を公開しました。授業のねらいだけでなく、見ているだけではなかなか伝わりにくい、指導者の思いを載せることで、帰宅した後でもその内容に触れたり話題にしたりしてもらえればいいなと考えています。

〔CS委員の感想〕
・先生によって板書の見やすさが違いました。途中から参観しても、授業の流れが分かるクラスの板書はとても見やすいです。
・指導略案に、「家庭へのメッセージ」があるのがいいと思う。指導者の思いが伝わってくるし、家でも話題にしやすい。
・静かに授業を受けていましたが、それぞれみんな頭の中でしっかり考えているんですね。

意見交換会　「給食について考えてみよう」　参加者：CS委員　保護者　教員　６年児童

道徳授業後の4校時に、意見交換会を実施しました。意見交換会のねらいは、学校でできることは何か、家庭でしなければならないことは何か、地域で協力していけることは何か？ それらを確かめ合い、学校・保護者・地域で連携し子どもたちを育てていくための情報共有の機会です。今回は、3者に6年生を加えることで、実際の子どもたちの声を聞きながら、それぞれの立場でできることを考えてもらうことにしました。できるだけ、子どもたちが考えて発言できるように身近な給食をテーマにしました。1班5～8人程度で10班のグループで意見交換をしました。

①アイスブレーキング　自己紹介+好きな給食のメニュー　について語る
②原町小の給食残菜の現状を知る
③各班で思ったこと　考えたこと　感想など　意見交換する
・調理員、栄養士の立場で考える
・みんなで何かできることはないか
・自分ができることは何か
④各代表が全体で感想を述べる
児童　CS 委員　保護者　教員



６年生児童と直接話してみて　CS委員より

・最後の発表で、作っている人のことを考えたり、聞いたりすると、食べられるものが増えるかもしれない、一人があと一口ずつ食べると残菜が少し減るのでは、と話し合いでは出ていなかったのに、自分の考えを伝えていて、感心した。
・自分の好きな給食についてずっと話している児童がいて、あまりいい話し合いとは言えなかった。
・お皿を持ち帰るのが面倒だからワンプレートにしてほしいという意見があった。食に対して関心がないように感じた。

・「配膳する人によって、食べる気がなくなる」「先生や家族以外の人に盛られたくない」と言っていたので驚いた。
・これは、いじめにつながるのではないか。
・お皿からおかずがはみ出たり垂れたりするのも嫌だと言っていたので、潔癖なのではないか。
・担任にも伝えて、注意深く見ていくとよいと思う。